

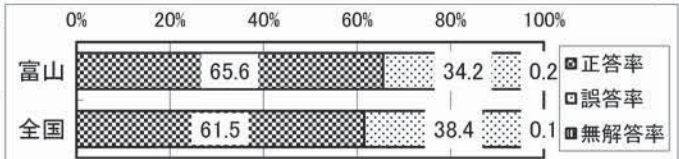
3 中学校「国語」

(1) 国語 問題番号1二 <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域等：1学年 C読むことイ
 評価の観点：読む能力 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は65.6%で、全国平均より4.1ポイント高いが、国語の中で3番目に低い。
- ・誤答については、二つの正答のうち、一つだけ正しく解答しているものが13.2%である。



1 問題用紙Ⅱの「全国中学生新聞」を読んで、あとの問いに答えなさい。

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 文化 6

海外に広がる弁当の魅力

(シリーズ)再発見! 日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当」(bento)、「漫画」(manga)、「俳句」(haikai)、「盆歌」(bonka)、「折り紙」(origami)は、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたってその魅力を紹介していきます。第一回は「弁当」です。

アメリカのボックスランチやフランスのカスクルトなど、日本の弁当のように戸外に持ち出して食べることでできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたたりしています。私たちが身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに取まっています。そのため、栄養バランスがよい食事としても、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べて、鮮やかな色合いになるように工夫された弁当を見て、「まるで宝石箱のようだ」と言う海外の方もいます。また、様々なデザインの弁当箱を好みに応じて選ぶことも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランスのデパルートの食器売り場でも、おしゃれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。弁当は、誰かのために作ったり、皆で持ち寄って和気あいあいと食べたりのこともあります。こうした、人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇ることができる日本の文化の一つなのです。

次回は「漫画」を取り上げます。

1 2 3 4 5 「弁当」

曲げわっぱの弁当

- 1 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までの中から全て選びなさい。
- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
 - 2 主食、主菜、副菜などが取まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
 - 3 ボックスランチやカスクルトなどとは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
 - 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
 - 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

正答 2、5

学習指導上の留意点

○ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を的確に理解することができるようにする
 説明、解説、論説等の説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開を捉え、内容を的確に理解するように指導することが大切である。その際、生徒自身が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫することが重要である。

指導のポイント

- ① 目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことができているかということに加え、どのようにすればその情報にたどり着くことができるのかについて検討するなどの学習活動を設定する。
- ② 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むように指導する。

・参考：報告書 24年度 P.146～P.150 4年間のまとめ【中学校編】 P.96～P.97
 授業アイデア例 23年度 P.3～P.4 30年度 P.5～P.6

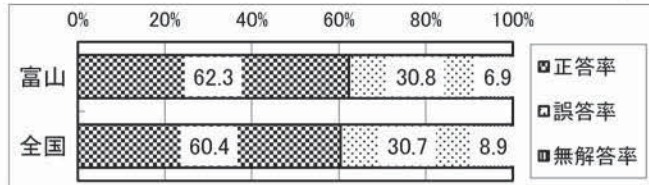
(2) 国語 問題番号2三 <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域等：1学年 A話すこと・聞くこと

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

- ・正答率は62.3%で、全国平均より1.9ポイント高いが、記述式の問題の中では最も低い。
- ・無解答率は6.9%である。
- ・誤答については、条件1を満たし実際に話すように書いているが、条件2を満たしていない解答が9.4%である。



正答例 「土足禁止」という表現をどのように直すのかについては、「土足のまま上がることは禁止しています。」とするのがよいと思います。

三 場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。
 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。
 条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」とは何かを明確にして書くこと。
 条件2 条件1で示した「どうするか決まっていないうこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいつ感じたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん 山下さん

ネットにそのようなニュースが出ていますね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合えないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたのですね。それに、例年、展示や発表の場が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

倉田さん 西野さん 山下さん

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないうことがあります。

A

② 第一中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

話し合いの一部

場面① (略)

場面②

場面③

学習指導上の留意点

- 話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことができるようにする
 話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

指導のポイント

- ① 司会の進め方や記録の仕方等を確認した上で、実際に記録を取りながら話し合いを行うなどの学習活動を設定する。
- ② 話し合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認させる。
- ③ 目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えるよう助言し、話し合いの仕方を見直しなが進むよう指導する。

・参考：報告書 24年度 P.188～P.189

授業アイデア例 24年度 P.3～P.4 25年度 P.7 31年度 P.5～P.6